

# 財政状況に一段と明るい兆しが見えてきました！

## 一般会計・特別会計・企業会計

		歳入（収入済額）	歳出（支出済額）	
一般会計		536億4,738万8千円	514億1,858万4千円	
特別会計	国民健康保険事業	129億7,202万4千円	129億2,058万9千円	
	住宅新築資金等貸付事業	1,550万2千円	1,092万6千円	
	市営駐車場事業	1億7,404万4千円	1億7,403万7千円	
	農業集落排水事業	1億4,616万5千円	1億4,616万5千円	
	介護保険事業	102億9,155万9千円	100億6,498万6千円	
	後期高齢者医療事業	30億3,981万9千円	30億3,531万1千円	
	地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業	8億9,672万8千円	8億9,672万8千円	
企業会計	水道事業	収益的収支	29億915万7千円	24億9,748万9千円
		資本的収支	10億6,355万6千円	16億3,767万2千円
	下水道事業	収益的収支	52億6,513万9千円	47億6,673万5千円
		資本的収支	28億5,755万7千円	42億4,029万5千円
合計		932億7,863万8千円	918億951万7千円	

桑名市長  
伊藤徳宇



市の財政は、主な財政指標で改善傾向が継続し、財政状況に一段と明るい兆しが見えてきました。これは、将来への投資と財政健全化に向けての改革をバランスよく進めることができた成果であると考えています。今後も一層の財政の健全化に取り組んでいきますので、ご理解・ご協力をお願いします。

## 一般会計内訳


歳入	決算額	構成比(%)	説明	
自主財源	市税	223億4,087万3千円	41.6	皆さんに納めていただいた市民税・固定資産税など
	分担金および負担金	16億8,548万8千円	3.1	保育料や受託消防の負担金など
	繰越金	18億585万8千円	3.4	平成30年度から繰り越されたお金
	その他	33億620万8千円	6.2	基金からの繰入金や公共施設の使用料など
依存財源	地方交付税	49億4,075万円	9.2	所得税などの一定割合を国から交付されたお金
	国庫支出金	73億5,668万1千円	13.7	国が認めた事業に対し交付されたお金
	市債	53億120万円	9.9	公共施設の整備などのために借り入れたお金
	その他	69億1,033万円	12.9	県支出金や地方消費税交付金など
合計	536億4,738万8千円			

歳出	決算額	構成比(%)	説明
議会費	3億4,420万1千円	0.7	議会の運営など
総務費	58億2,811万円	11.3	庁舎の管理、戸籍、税の収納、選挙など
民生費	177億1,764万8千円	34.5	児童、高齢者、障害者の福祉など
衛生費	46億9,519万7千円	9.1	健康診断、予防接種、ごみ処理など
労働費	9,060万円	0.2	就労支援、中小企業労働対策など
農林水産業費	7億1,141万5千円	1.4	農業、漁業の振興など
商工費	2億1,900万1千円	0.4	商工業の振興など
土木費	55億521万7千円	10.7	道路、公園などの整備・維持、桑名駅自由通路整備など
消防費	30億8,670万7千円	6.0	消防、救急、防災対策など
教育費	52億7,100万3千円	10.2	学校教育、生涯学習、文化振興など
公債費	61億998万7千円	11.9	市の借金返済
諸支出金	17億184万円	3.3	企業会計への繰り出しなど
災害復旧費	1億3,765万8千円	0.3	災害の復旧
合計	514億1,858万4千円		

歳入歳出差し引き22億2,880万4千円は、全額令和2年度に繰り越しました。

9月の市議会定例会で令和元年度決算が認定されました。決算は、1年間にどれだけのお金が入り、どのように使われたのかを明らかにしたものです。

### 市の財政状況を示す主な指標

	令和元年度	平成30年度	比較
経常収支比率※1	93.0%	95.5%	2.5ポイント改善 
将来負担比率※2	64.7%	56.9%	7.8ポイント上昇

#### ※1…経常収支比率とは

地方税や地方交付税に対し、人件費や扶助費、公債費などの削減することが容易でない義務的な経費が占める割合で、この数値が低いほど財政構造にゆとりがあり、財政は健全といえます。主に人件費・補助費などの歳出削減と、景気の動向などにより市税などの歳入が増加したため、2.5ポイント改善しています。

#### ※2…将来負担比率とは

地方債の残高など、市が将来負担すべき実質的な負債の規模を示す指標であり、この数値が低いほど将来の負担が低く、財政は健全といえます。主に桑名広域清掃事業組合が可燃ごみ焼却施設建設のために起こした地方債残高の増加などにより、7.8ポイント上昇しています。

### 市の貯金と借金

		令和元年度	平成30年度	比較	
貯金	基金残高（一般会計）	106億1,938万3千円	103億9,490万9千円	2億2,447万4千円増加	
	内訳	財政調整基金※3	45億8,988万5千円	42億1,617万8千円	3億7,370万7千円増加
		その他	60億2,949万8千円	61億7,873万1千円	1億4,923万3千円減少
借金	地方債残高（一般会計）	545億9,208万4千円	551億2,825万2千円	5億3,616万8千円減少	
	内訳	臨時財政対策債※4	253億682万円	255億6,952万8千円	2億6,270万8千円減少
		その他	292億8,526万4千円	295億5,872万4千円	2億7,346万円減少

#### ※3…財政調整基金とは

経済状況の変動による大幅な税収の減少や災害などの予期できない支出に備えるための基金で、特に目的を決めていない貯金にあたります。

#### ※4…臨時財政対策債とは

地方交付税の不足分を補うために特例として認められている地方債で、償還費用は全額国が負担するため、実質的な市の負担は生じません。

## 決算のまとめ

令和元年度の決算は、行政改革の観点から、補助金の適正化、公民連携などの新たな手法の導入、ふるさと応援寄附の推進や使用料・手数料の見直しなど、さまざまな取り組みを行い、限られた財源を有効活用した結果、財政のゆとりを示す「経常収支比率」は、前年度より2.5ポイント改善しました。その他、主な財政指数において、改善傾向が継続しており、財政状況に一段と明るい兆しが見えてきました。

しかしながら今後は、新型コロナウイルス感染症の影響で税収の減少が予想されることから、財政は厳しい状況になるものと見込まれます。

社会の変化を捉え、従来の慣行や制度を見直し、持続可能な行政運営を目標に社会や市民の皆さんに必要とされる政策・事業を進めていきます。

**問** この記事に関するお問い合わせは、財政課（☎ 24-1137 FAX 24-6312）へ。  
企業会計については、上下水道部企画総務課（☎ 49-2005 FAX 48-3585）へ。